

# Annual Report 2013 INDEX

## 編集方針

### 統合報告を目指して、 ESG情報を拡充しました。

当社グループの長期的価値創造について株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまにご理解いただくため、今回発行する「Annual Report 2013(本レポート)」では、ESG(環境、社会、ガバナンス)情報を拡充しました。

編集にあたっては、国際統合報告委員会(IIRC)が2013年4月に発表した「国際統合報告フレームワーク公開草案」などを参考にしました。

### ■ オンライン版のご案内

本レポートのオンライン版を公開しています。  
社長メッセージ動画をご覧ください。

 **ウェブサイトの動画もご覧ください。**  
<http://www.mhi.co.jp/finance/ar2013/index.html>

## 将来の見通しに関する注意

本レポートのうち、業績見通しなどに記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、これらの業績見通しにのみ依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おさください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

## 表紙について

写真：排熱回収ボイラモジュール  
ガスタービン複合発電プラントを構成する重要機器。写真の排熱回収ボイラモジュールは、重量が約4,000tあり、モジュール化されたボイラとして世界最大級。配管設備や電気部品などが全て組み込まれているため、納入先の発電所での大幅な工期短縮と現地管理の軽減化が可能。

## 3 ステークホルダーの皆さまへ

三菱重工グループの総力を結集し、「2012事業計画」の達成を目指します。



## 5 社是・CIステートメント

## 6 三菱重工の歴史(主な技術・製品のあゆみ)

## 7 ビジネスモデル/重要なパフォーマンス(財務・非財務ハイライト)

<b>INPUT</b>	—— さまざまな資本・資源の投入	7
<b>価値付加活動</b>	—— 製品・サービスを高度化・合理化する活動	8
<b>OUTPUT</b>	—— セグメント別の事業概況	9
<b>OUTCOME</b>	—— 財務・非財務の成果	11

## 13 主要財務指標 11年サマリー


## 15 2012年度の業績推移とトピックス

## 17 社長インタビュー エネルギー・環境分野を中心に グローバルでの事業展開を加速し 2014年度に受注高4兆円・ 営業利益2,500億円を目指します。



## 25 特集

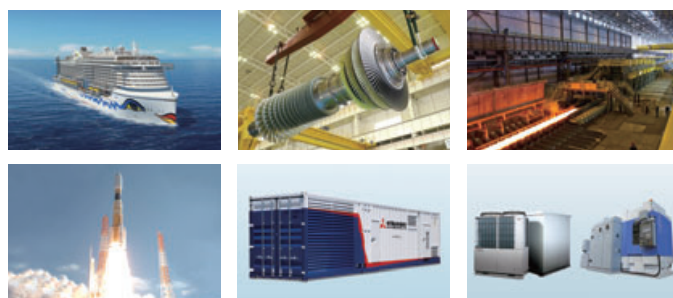
### 世界中で課題・問題解決ニーズに応えて

 Domain 1. <b>エネルギー・環境</b> ..... 27	 Domain 3. <b>交通・輸送</b> ..... 31
 Domain 2. <b>機械・設備システム</b> ..... 29	 Domain 4. <b>防衛・宇宙</b> ..... 33



## 35 セグメント別 営業概況

船舶・海洋部門 ..... 35	航空・宇宙部門 ..... 41
原動機部門 ..... 37	汎用機・特殊車両部門 ..... 43
機械・鉄構部門 ..... 39	その他部門 ..... 45



## 47 知的財産・研究開発活動

## 50 ESG情報

環境・社会 ..... 51	
ガバナンス ..... 61	
社外取締役からのメッセージ ..... 68	取締役および監査役 ..... 69

## 71 会社概要

## 72 財務セクション

## 79 海外活動拠点